

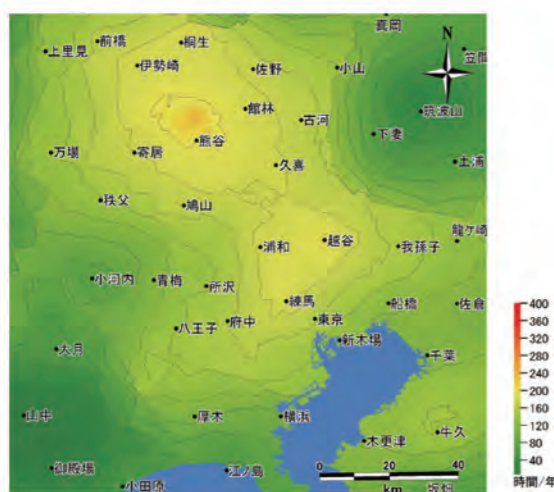
# 大都市に“島”があるのって知ってた？



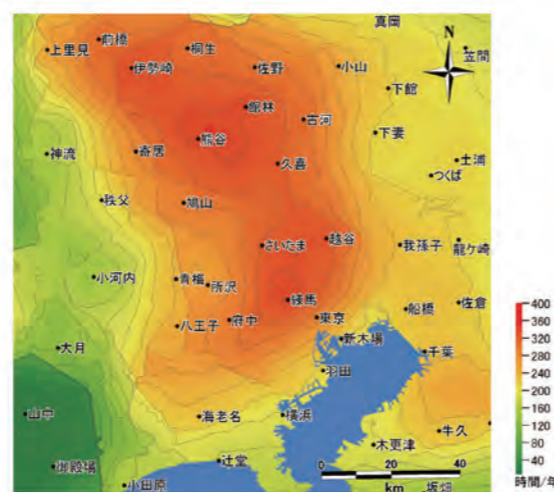
ビルや舗装道路の多い東京などの大都市では、夏場、太陽の熱によってコンクリートやアスファルトがとっても熱くなるんだよ。また、ビルの冷房や暖房、自動車から熱がたくさん出ていて、都会の中心部は周辺よりも気温が高くなっちゃうんだよ。

気温分布を地図に書いてみると、まるで熱（ヒート）を持った部分が島（アイランド）のようになるので、これをヒートアイランド現象と呼んでいるんだ。特に最近では、この現象が加速しているんだよ。

関東地方における30℃以上の合計時間の分布（5年間の年間平均時間数）



1980年～1984年



2006年～2010年

出典：環境省

どんどん暑くなっているね。



## 暑さを抑える対策って、なにがあるの？

ヒートアイランド現象に効果がある対策として、アサガオやゴーヤなどのツル植物で日よけをする“緑のカーテン”や、玄関前の道や庭先などに水を撒く、昔からの日本の風習である“打ち水”などがあるよ。

環境省主催「グリーンカーテンフォトコンテスト2012」



打ち水イベントの様子

写真：大手町・丸の内・有楽町打ち水プロジェクト運営事務局



アイデア部門最優秀賞：  
「竹と麻を織り交ぜた人と地域のつながりのゴーヤカーテン」  
応募者名：向日市立向陽小学校PTA（京都府）

やってみよう！調べてみよう！

ヒートアイランドにならないため、みんなには何ができるかな。考えてみよう。